



現場から（最近のニュースから）

## 助言者

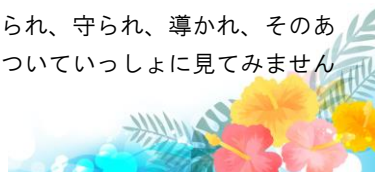


パリオリンピックが始まりました。連日、アスリートたちの活躍が報じられ、東京オリンピックの後3年間、訓練して準備してきた人々の感動的な姿を見ることができます。しかし、「オリンピックには魔物がいる」と言われるように、思いがけない人が負けてしまったり、失敗することがあります。今回も、まさかと思える人が敗退しています。そのような姿を見て、過去4度オリンピックに出場した東京五輪・卓球混合ダブルス金メダリストの水谷隼氏が、自身のX（旧ツイッター）に書いたことが出ていました。

前回大会の東京五輪王者・阿部詩さんが2回戦で敗退し、金メダル候補の永山竜樹さんが審判関係のアクシデントに遭うなど、不測の事態が続いている状況の中で、水谷さんは「オリンピックに4回以上出場した選手って日本にどれくらいいるんだろう？戦い方教えてあげたい…」と自身が過去4度、五輪に出場した体験を元に現役選手を助けたいという思いを記したということです。また「初めてのオリンピック、期待されて臨んだオリンピック、メダル取った後のオリンピック、その都度背負う重圧は全然違う」とメンタル面での難しさを経験則から説明していたということです。敗れた選手へ向けた外部からの批判などを見越してか「オリンピックを経験した人にしか絶対分からない」と気持ちをおもんばかっているということです。（7月29日よりず〜く東京五輪金の水谷隼氏 アクシデント続くパリ五輪選手に「教えてあげたい…」ネットも共感>より）

昨年、日本がWBCで優勝したときも、選手のひとりであったダルビッシュ有投手が、その前のWBCに参加していた経験から、細かいことにまですべての選手に配慮したことが、どれほど大きく貢献したかが大きく報道されていました。また、オリンピックに5回も出場してメダルを取ったことがある柔道の谷亮子さんが、今回のオリンピックの柔道強化合宿でいろいろ助言したとも言われています。

私たちもそれぞれ、自分ではどうしようもないような事態に陥るとき、同じような状況をくぐり抜けてきた人の助言は、どれほど力になることでしょう。また、どうしようもない事態に陥る前に、あらかじめ備えておくべきことを知らせてもらえたら良いのになと思うことはあるでしょう。ただ、人間はそれぞれ違いがあるので、まったく同じ経験をするのは難しく、たとえ助言をもらっても、その助言ですぐに立ち直れないことも多いでしょう。今回、柔道で負けた阿部詩さんが、谷亮子さんのことばを思い出して立ち直ってほしいと書いている記事もありましたが、敗戦のショックはかなり大きいように見えます。人が人を助けるのは限界があります。どんなに経験していても、人間には限界があります。だれが私たちに正しく助言することができ、正しく導いてくれることができるのでしょうか。人がだれも助けてくれなくても、教えられ、守られ、導かれ、そのあと、必ず他の人まで生かすことができる道があります。その道についていっしょに見てみませんか。



## 救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあり、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になる、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってください。感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください